

北六甲台&上山口東の住宅街

福祉だより

ぬくもり

第88号
平成28年8月25日

西宮市社会福祉協議会
山口支部北六甲台分区分区長 日高 昭夫

●発行/社協北六甲台分区分区 ●発行日/偶数月 ●編集/北六甲台分区分報部 ●配布エリア/北六甲台・上山口東

こんにちは 赤ちゃん!

上山口丁目
藤原鳳将くん
(三カ月) おうすけ



八月初旬、藤原さんのお宅を訪ねました。お母さんと一緒に迎えてくれたのは、小学生のお姉ちゃん。弟の面倒もしっかり見てくれる素敵なお姉ちゃんです。

鳳将くんは、お姉ちゃんとお兄ちゃんに囲まれてご機嫌のようす。

「おとなしい子で育てやすいんです」とお母さん。お母さん思いの優しいお子さんに育っておられます。

お庭には、ご主人手作りのウッドデッキが完成！暑さが和らいだ頃には、鳳将くんもデッキで日向ぼっこが出来そう。これからの成長が楽しみです。

主任児童委員 小澤 薫

新任部長紹介

広報部長

榊野 恵次



広報部は、広報紙「ぬくもり」の編集、発行が主な役割です。西宮市社会福祉協議会北六甲台分区分区連の行事や各専門部の活動報告などのほか、地域福祉に関わるいろいろなニュースを取り上げていきますので、地域の皆さんのご協力を、よろしくお願いたします。

募金事業部長

中野 陽子



今年度より、募金事業部を担当致します。五月は赤十字、七月は社協会員の新規と継続のお願いと会費の徴収、十月は赤い羽根、十二月は歳末助け合い街頭募金などの活動です。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

高齢者福祉部長

高橋 貞義



高齢者福祉部を五名の方々と一緒に活動することとなりました。

高齢化社会環境で、「出来ることは何か」「何が必要なのか」等、課題は多く、皆様方のご支援とご協力をお願いいたします。

有償ボランティア よりそいサポートのキック・オフ

社協分区分長(ボランティアコーディネーター) 日高 昭夫

今年度の最重要事業

去る六月二十二日、ボランティアセンターの有償ボランティアの立上げ説明会を開催しました。ボランティアコーディネーターの一員として皆さんと一緒に一年がかりで準備を進めてきた事業です。社協分区分長としても今年度の最重要事業として提案させていただきました。

説明会は地域住民の皆さんに、初めてその全貌をお伝えし、利用者登録やサポーター登録をお願いするいわばキックオフの場でした。それだけにどれだけの皆さんに関心を持って頂き、参加して頂けるかが不安でした。

会場いっぱい参加者

不安をよそに一時半の開会には大勢の方に会場



に足を運んでもらいました。事務局で多めに準備した筈の配布資料が間に合わず追加印刷に追われました。最終的に会場のコミュニケーションセンターを埋め尽くす五十七名の参加者で溢れました。嬉しい誤算というほかはありません。地域での高齢者の困りごと支援のボランティアへの期待の大きさを物語っていると思われまます。

十三名のボランティア

障がい者・児支援部「青い空」

トライやるウィークを受け入れて

障がい者・児支援部 井上 さち子

五月二十三日(月)九時三十分、山口中学校の生徒四名が安心プラザに。連絡の不手際で生徒たちは十分も前から待っていたそうです。迷惑をかけたにもかかわらず、生徒たちは、明るくはつきりと挨拶をしてくれ、一日を共に過ごす意気込みが感じられました。テーブルセット、マット敷などの手伝いを進んで行い、障がい者・児の居場所づくりの意義の説明を聞き、感心し驚きを示しながら、必要性を納得された様子。自己紹介では年齢発表などで緊張感がとれ、和やかな雰囲気になりました。

恒例の昼食の注文をみんなからまとめ、合計金額と集金した金額を合わせたり、お茶の用意をしたりと二人組でできばきと動いてくれました。また、事業所「すばる」からの生徒二名も参加され、総勢十三名で賑やかにになりました。

生徒の一人は「『さくらまつり』で『青い空』のメンバーの椅子を押す手伝いをした」と親し気に話されていました。また、夏休みなど時間のある時に「青い空」に参加したいと言われ、感動させられました。



昼からは、女性メンバーの三十一歳の誕生日で、「ハッピーバースデー」を歌い、おやつをいただきながら、入部している部活動の話や聞いたことなどを質問したりして、午後三時まで過ごしました。後片付けもメンバーと共に行い、元気に手を振りながら帰路につかれました。

コーディネーターが紹介された後、私から「有償ボランティア導入の背景と趣旨」(二頁参照)と「よりそいサポートの仕組み」を説明しました。

- ・ボランティアコーディネーターが利用申込とサポーターの提供する活動をコーディネートします。
- 提供活動のメニューと料金
- 回数制活動 一回五百円
- 電球交換、蛇口のパッキン交換、家具移動など
- 時間制活動 一時間七百円
- 草抜き、植木水やり、縫い物、買物付添いなど
- ※料金は交通費込みです
- ※メニューや料金は見直す場合があります。

① 自立生活支援のためのボランティア

・目的は、高齢者、障がい者、介護者、子育て中のお母さん等の助け合いによる自立生活支援です。

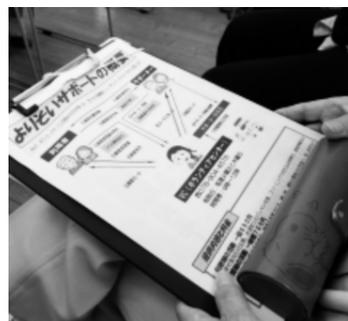
・便利屋さんや家政婦さんとは性格を異にした有償ボランティアです。

② 利用者、サポーターの事前登録と双方のコーディネート

・利用者の利用者登録の申込み

・申込を受けボランティアコーディネーターが訪問取りを行います。

・サポーターは提供可能活動を事前登録します



説明の後、十人余りの方から活発な質問や意見を頂きました。また閉会后には、早速十名の方からサポーター登録を、三名の方から利用希望カードを頂きました。

よりそいサポートが順調なキックオフを飾りました。

「よりよいサポート」導入の背景と趣旨

今なぜ有償ボランティアなのか？「よりよいサポート」の制度導入の背景や趣旨をお伝えします。

導入の背景と趣旨

①高齢者等の自立生活支援ニーズの増大
②介護保険改正後の地域生活支援事業の遅れ
③ボランティアの高齢化と減少



④地域住民同士の助け合いによる安心安全な支援
⑤元気がなくなつた世代を元気づける循環型の支援の仕組みづくり



も年々減少しています。提供する活動も移送ボランティア（カーボラ）が殆どで家事支援の活動は殆どありません。ボランティアセンターの現状の仕組みだけでは新たな自立生活支援ニーズの対応は困難です。

よりよいサポートの立上げ

そこで以下の趣旨から有償ボランティアの立上げに取組みました。
①日常の家事支援活動の有償化でサポーター、利用者の双方を新たに募る
②リタイアおじさんや子育て卒業母さんの「報酬のある地域活動」で新たなサポーターを発掘する
③低価格の有償サービスによる利用者の利用促進
④地域住民同士の助け合いによる安心安全な支援
⑤元気がなくなつた世代を元気づける循環型の支援の仕組みづくり
(日高・記)

ボランティアセンター

安心キット登録者アンケートを実施

平成二十五年に北六甲台地区、続いて上山口東地区に導入した「安心キット」について、社協分区分ボランティアセンターはその後の状況を検討するため、キット登録者を対象にしたアンケートを、九月に実施する計画で準備をすすめています。



安心キットは、日頃の体調や病状、常用している薬、かかりつけの病院・医院、緊急連絡先などを簡潔に記したメモ（記録紙）を、容器（ケース）に入れ、冷蔵庫などの所定の場所に備えておくものです。例えば救急車を要請するような突然の事態に見舞われた際、応急的な対応がスムーズに行える一助となります。
宝塚市の「高齢者安心キット」、名古屋市の「緊急時あんしんキット」など、全国の自治体で導



入されているが、記録紙の内容が書き放しになっていないか、病状や薬などの情報が最新のものに書き換えられているか等の情報更新が課題です。
また、地域の消防署との連携が重要ですが、「（消防署員が）『安心キット』について知らないか」という情報について、市社協の消防署員への周知徹底の取組みの報告もありました。
ボランティアセンターでは、こうした課題を念頭に、導入から三年目を迎えた今年、地域の「安心キット」の現状を把握し、今後の検討課題を探ることにしました。

社協会員会費の報告

ご協力ありがとうございました
個人 459口 229,500円
法人 16口 80,000円
合計 309,500円

「内容を書き直しているか」などです。同時に、このほど新たに発足した「よりよいサポート」（有償ボランティア制度）についても、登録者の皆様のご希望やご意見を伺うことになっています。
計画では、九月に配布、回収し、その後アンケートの内容をまとめる作業に入ります。
回収したアンケートは「安心キット」の普及および、「よりよいサポート」の参考にさせていただきます。個人情報保護は守ります。
(広報部・榎野)

第三十一回北六甲台盆踊り大会

盆踊り...それぞれの楽しみ方

猛暑の中の盆踊り

八月二十日の土曜日、神戸の最高気温が三十六度という猛暑のこの日、三十一回目の北六甲台恒例の盆踊り大会が開催されました。

いつもは夜静かな住宅街ですが、この日はばかりは大勢の住民が北六甲台小学校校庭に集まる一年で最大の地域イベントです。



今年も満席の敬老席

社協と福寿会が運営する敬老席は、ほぼ満席状態



態。毎年必ず参加しているという八十代の女性にお話を伺うと、最近旦那様が施設に入られひとり暮らしとのこと。「踊りはしないが、お囃子太鼓と子供達の笑い声が聞こえるこの賑やかな雰囲気の中で、お友達のおしゃべりが楽しい」との感想でした。また別の六十代で現在リハビリ中の女性は「ゆっくりですが歩いて来ました。盆踊りに来ると近所でも普段めったに会わない人に会えるのが楽しみです」とのこと。確かにあちらこちらで人々



イマドキの盆踊り

気がつけば敬老席の前に子供たちの長い列が。自治会からプレゼントの大きなお菓子の包みと光るおもちゃに子供たちは大喜び。そばで見守るお年寄りの顔にも笑みがこぼれていました。昔は一般的だったお年寄りと子供たちとのふれあいも核家族化や少子化が進み最近では珍しくなりました。このような盆踊りも高

齢化や予算の関係で取り止める地域も増えていると聞きます。また騒音問題でイヤホンをつけて踊る「無音の盆踊り」まで登場しているそうです。

酷暑・五輪・飲酒自粛余波

酷暑の影響か、オリンピックの影響か、はたまたアルコール販売中止の影響か、例年よりも参加者は少なかったようです。来場者はそれぞれの形で盆踊りを十分堪能していたようです。また、

パントリー跡の駐車場に特設したピアガーデンでもビール好きの大勢の人たちで賑わっていました。それにも暑しい時間から大勢の方々に準備や片付けに携わって頂きました。お陰で無事今年の盆踊り大会も終了しました。関係者の尽力にあらためて感謝します。
(広報部・小林)



ご案内

第11回 (平成28年度) 敬老のつどい

開催日：9月25日(日)
時間：午後1時～3時
会場：北六甲台小学校・体育館

